

大阪市立 瓜破東 小学校



住所 〒547-0022 大阪市平野区瓜破東 2-5-78

連絡先 ☎ 06-6708-0108 📠 06-6799-0359

校長 山根 敏夫

開校 昭和 46 年

URL <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e751734>



校訓

「自ら学ぶ子」

教育目標

「心豊かで、たくましく生きる子」の育成

学校教育の重点(めざす子ども像)

- ☆考えて行動する子
- ☆思いやりのある子
- ☆命を大切にする子

教育方針

「生きる力」をはぐくむ教育活動を推進する

運営に関する計画

【概要】 子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現
心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上

【中期目標】

【安全・安心な教育の推進】

○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を、95%以上にする。

○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87.0%以上にする。

○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88.0%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○小学校学力経年調査における、国語の学力に課題の見られる児童の割合を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より3.0ポイント減少させる。

○小学校学力経年調査における、算数の学力に課題の見られる児童の割合を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より3.0ポイント減少させる。

○小学校学力経年調査・学校生活アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80.0%以上にする。

○小学校学力経年調査・学校生活アンケートにおける「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85.0%以上にする。

【年度目標】

【安全・安心な教育の推進】

○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を、92%以上にする。

○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を73%以上にする。

○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80.0%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○小学校学力経年調査における、国語の学力に課題の見られる児童の割合を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1.0ポイント減少させる。

○小学校学力経年調査における、算数の学力に課題の見られる児童の割合を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1.0ポイント減少させる。

○小学校学力経年調査・学校生活アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。

○小学校学力経年調査・学校生活アンケートにおける「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

校長先生からのメッセージ

本校ではく⑤たえ ⑨そうを ⑩ろがれ ㊦ッツで～子どもも大人もチームうりひが～を合言葉に、令和6年度から研究主題を「一人ひとりが自主的、実践的な活動に取り組む特別活動の創造～かがやけ！みんなが主人公～」とし、【特別活動】の研究に取り組んでいます。学級活動では、活発な話し合い活動が行われており、そこで身につけた力を他教科・領域に活かせるようになってきています。また、児童会活動では、たてわり班での活動を中心とした異年齢交流により、人を思いやるやさしい心が育っています。4年生から始まるクラブ活動では、異年齢集団で協力して活動するよさを味わっています。また、同じく4年生から始まる委員会活動では、学校全体のために意欲的に活動しようとする姿が見られます。児童のウェルビーイングのために、教職員一同頑張っています。校長 山根 敏夫

R7年度「全国学力・学習状況調査」

国語	算数	理科	
54	43	45	平均正答率(%)

●結果と概要／

本校の平均正答率の対全国比は、国語科0.81ポイント、算数科0.74ポイント、理科0.79ポイントで、対全国差は国語科-12.8ポイント、算数科-15ポイント、理科-12.1ポイントであった。また平均無解答率の対全国比は、国語科1.8ポイント、算数科1.5ポイント、理科0.89ポイントで、対全国差は国語科+2.7ポイント、算数科+1.8ポイント、理科-0.3ポイントであった。これらの結果は、いずれも令和6年度（未実施の理科を除く）より後退している。

しかしながら、児童質問紙における「自分には、よいところがあると思いますか」の項目においては、肯定的回答が75.8%で令和6年度より+25.8ポイントと大きく向上している。また「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目においても、肯定的回答が100%で令和6年度より+15.2ポイントと大きく向上している。

●取組の成果と課題／

【国語】選択式問題では、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみるものが、大阪府・全国の正答率を超える結果であった。

【算数】記述式問題では、目的に応じて適切なグラフを選択し、出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみるものが、大阪府の正答率を超えており、全国との比は0.97という結果であった。

【理科】選択式問題では、水が氷に代わる温度を根拠にオホーツクの氷の面積が減少した理由を予想し、表現することができるかどうかをみるものが、大阪府・全国の正答率を超える結果であった。

R7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	合計 得点(点)
男子	17.53	19.12	29.75	33.95	43.86	9.69	133.79	18.83	48.47
女子	17.05	14.83	37.37	29.18	28.59	10.39	132.00	11.83	47.06

●結果と概要／

測定8項目中、男女とも握力のみ、全国・大阪市を上回る結果であった。体力合計点は男女とも全国・大阪市の結果を下回った。「運動やスポーツをすることは好きですか」肯定的回答が男子90.5%、女子70%であり、男女ともに全国・大阪市の結果となった。1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は男子15%、女子は35.2%であった。また、男子は1週間の総運動時間が420分以上の割合が全体の80%を占めており、女子で1週間の総運動時間が最も多いのは60分～419分の41.2%であった。これより、男子は全国・大阪市と比較しても運動に対する興味関心が高いと窺える。「体育の授業は楽しいですか」肯定的回答が男子81%、女子75%である。運動に対する苦手意識はあっても、進んで学習に参加することで『一つでもできることが増えるようになるのではないか』と期待感をもっていると考えられる。

●取組の成果と課題／

本校では、令和6・7年度と1年生から体育専科と担任のT.T体制で体育科の授業を進めた。専科を採り入れたことで、系統立てた体育科学習が進められており、どの学年の児童も体育科の学習を楽しみにしている。

学校全体として、学校保健の観点からも「姿勢」について意識する週間を設けたり、「びよんびよんタイム（なわとび）」や「らんらんタイム（かけ足）」を計画的に実施したりしている。また、「らんらんタイム」での成果を発揮する場として地域の『瓜破公園』をお借りしての「かけ足大会」を実施している。

さらに、各種アスリートによる出前授業等を積極的に活用し、児童が本物に触れる体験を通して、スポーツの楽しさを味わえるようにしている。

学校の特色

学校経営方針のもと、「チーム瓜破東」として、全教職員で組織的に教育活動に取り組んでいます。保護者、地域の方々をはじめ、児童にかかわる全ての皆さまが、児童一人ひとりの成長のために協力してくださっています。

読書活動の充実

- ◆基礎学力の確かな土台を築くために
- 計画的な読書活動

- ・読書計画の作成
- ・朝の読書活動
- ・読書意欲の喚起（読書ノート、読書の木等）



地域との交流

- ◆豊かな社会性を身につけるために

本物に触れる体験

- ◆キャリア教育の充実のために



あいさつの励行

- ◆豊かな社会性を身につけるために
- 学習・生活規律の確立
- ・徹底した「あいさつ」指導

- 登下校（地域・校内）-
- 授業の始まりと終わり-
- ていねいな言葉づかい-



放課後ステップアップ

- ◆基礎学力の確かな土台を築くために
- 一人学びの場の提供



たてわり活動の充実

- ◆心豊かな、思いやりの心を育てるために
- 年間を通したたてわり班による活動の実施

- ・隔週の集会活動
- ・全校遠足でのたてわり活動
- ・ペア学年交流の工夫



びよんびよんタイム（なわとび週間）

- ◆豊かな社会性を身につけるために
- 体力づくり

